

医療分野研究成果展開事業 産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M/MS) 第2回成果発表会

開催目的

2019年10月10日にBioJapan2019(パシフィック横浜)にて成果発表会を開催致します。

産学連携部産学連携課において平成27年から実施している、医療分野研究成果展開事業 産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M/MS)に採択された課題の中から、研究開発期間が終了した優秀な課題の一部について、研究開発成果を紹介するとともに、その成果をアカデミア研究者・企業関係者等に広く役立てていただくことを目的としております。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：2019年**10月10日**(木)
13:30 ~ 16:30

会場：パシフィック横浜
アネックスホールF202
BioJapan 2019

定員：120名
(参加費無料/要事前登録)

参加お申し込みはBioJapanホームページから
<https://biojapan2019.jcdbizmatch.jp/Registration>

プログラム

13:30~13:35 開会挨拶
13:35~13:45 千葉PS挨拶

創薬

13:45~13:50 座長挨拶 谷田PO

13:50~14:15
「TLR7を標的にしたSLE治療薬の開発」
長井 良憲 (富山県立大学)
セットアップ企業 テイカ製薬株式会社
共同研究開発機関
産業技術総合研究所、東京大学、関西医科大学

14:15~14:40
「他家移植用の再生キラーT細胞を量産する技術の開発」
河本 宏 (京都大学)
セットアップ企業 レグセル株式会社

医療技術

14:45~14:50 座長挨拶 山本PO

14:50~15:15
「アレルギーの発症予防と治療に有用なバイオマーカーと診断装置の開発」
木戸 博 (徳島大学)
共同研究開発機関
応用酵素医学研究所株式会社

15:15~15:40
「3次元細胞培養システムを用いた革新的ヒト弾性軟骨デバイス創出」
谷口 英樹 (横浜市立大学)
共同研究開発機関
株式会社ジェイテックコーポレーション、神奈川県立こども医療センター

15:40~16:05
「革新的タンパク質シルクエラスチンの臨床研究」
川端 慎吾 (三洋化成工業株式会社)
共同研究開発機関
京都大学

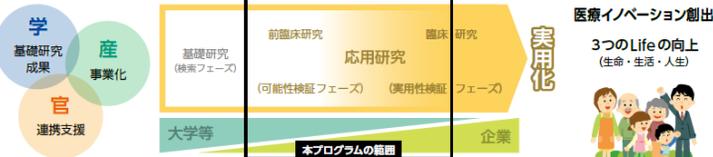
16:05~16:30
「小型・軽量・安価な手指リハビリ用訓練ロボット装置SMOVE」
荒田 純平 (九州大学)
共同研究開発機関
株式会社三松

産学連携医療イノベーション創出プログラムの概要

本プログラムは、大学等と企業等や病院等との連携を構築しアカデミア(大学等)発の「技術シーズ」を産業界(企業等)に円滑かつ効果的に移転する(実用化プロセスに乗せる)ための、産学連携による研究開発を支援する制度です。本プログラムは基本スキーム(ACT-M)およびセットアップスキーム(ACT-MS)より構成されています。

産業連携により医療分野における技術課題を解決

日本医療開発機構(AMED)/文部科学省が設定したテーマに基づき、産学連携で構成される複数の研究開発チームが、POによるマネジメントのもと一体的に研究開発・実用化を推進



産業連携により研究開発・実用化を推進



国立研究開発法人
日本医療研究開発機構



BioJapan 2019